

仲むじまじく金婚式

市内では31組が迎える

夫婦力を合わせて風雪に耐え半世紀―。高知新聞社主催の「第二十六回金婚夫婦祝典」が九月一日、午後一時から県下六会場で一斉に行われました。

南国会場にあてられた社会福祉センターには、本市の他に土佐山田町、野市町、大豊町など九市町村から百二十六組（本市は三十一組）が出席、盛大な祝典式が行われました。



小笠原市長から祝福を受ける金婚夫婦のみなさん

金婚を迎えられた31組のご夫婦

竹身 行信(76)・里見(72)	前 浜	朝田 盛(73)・豊子(75)	下野田
高木 万一(70)・亀井(70)	浜改田	松浦 豊茂(76)・政尾(74)	上末松
浜田 熊衛(78)・豊子(75)	"	西村 義雄(75)・花雪(69)	東 崎
三谷 巖(74)・雪野(68)	里改田	松岡 輝義(72)・春子(68)	"
土居 建留(72)・菊寿(70)	十 市	森下 只枝(74)・文 (70)	"
井上 良幸(74)・万喜子(70)	稲 生	岩川 忠治(79)・喜美(72)	国 分
田内 留喜(70)・ツルエ (69)	"	岸本 正喜(72)・秀尾(70)	植 野
松本 正男(73)・ 誓 (68)	片 山	坂本 清男(75)・妙子(72)	宋 崎
大西 利秋(74)・しげ(77)	大堀乙	池知 秋水(72)・ 静 (69)	三 島
小松 勝美(78)・千都(70)	大堀甲	岩原 勇(77)・美幸(68)	中 谷
関田 通暢(73)・亀寿(68)	大堀乙	植田 速美(73)・香雪(71)	小 運
田島 正則(72)・ 芳 (67)	"	唐岩 佐京(78)・ 英 (73)	"
中沢 三郎(75)・百喜(71)	大堀甲	田中 寅儀(73)・静子(69)	中 島
久家 亀彦(78)・留喜(74)	田 村	山崎 勉(74)・ 寿 (69)	"
北村 薫(73)・初猪(67)	立 田	山本 弘吉(75)・久恵(68)	浦 原
竹島 末喜(72)・卓子(65)	"		



お年寄りと子供たちの楽しいひととき

子供会が老人を招いて「納涼の夕べ」

長岡三島の明星子供会は八月十三日、老人クラブ南国長命会を招いて「納涼の夕べ」を催した。

この日は、子供会育成者の磯井佐武さんをはじめ父も母も全員総出で、子供と共に午前六時から部落の運動場の除草、国分川の清流での水泳大会。そして夕方六時から老人を招いて「納涼の夕べ」を開いた。

まず、二、三日前から老人にゲートボールの手ほどきを受けた四年生以上の子供会員が二チームを編成、老人と対抗戦をした、老人に指導を受けつつのゲームであったが、子供会の勝利となった。

それから運動場の夜間照明のもと、アイスクリーム、焼鳥、綿菓子、おむすびコナーなどが開かれ、子供と父母の盆踊りを楽しみなが老人たちは涼気を満喫して「こんなうれしいことはない、今夜はゆっくり眠れる」と、孫の手に引かれて帰っていた。

（長命会老人クラブ会長 北岡 博）

豆剣士が熱戦

団体戦は大篠が制す
～第3回少年剣道大会～



残暑の続く八月二十七日、第三回南国市少年剣道大会が日章小学校体育館で開かれました。

この大会は三年前、各地区で練習しているチビッ子剣士が一同に集まり、日ごろの練習成果を発表し、また交流の場を持つとと始められました。今年は三年目という

暑さを吹き飛ばす試合が次々行われた

ことで、各教室から約七十人の剣子が集まり、子供たちにとっても待ち遠しい大会となってきました。

立っているだけでも汗が出る蒸し暑い体育館の中で、防具を身につけた子供たちの元気な気合いと見守る父兄の声援が、暑さを吹き飛ばすように響いていました。

成績は次のとおりです。
団体戦・一位「大篠少年剣道チーム」

ム、二位「長岡少年剣道Aチーム」
三位「練心館Aチーム」
個人戦

◎五・六年男子……一位「掛橋健、二位「岩下真也、三位「竹田誠」

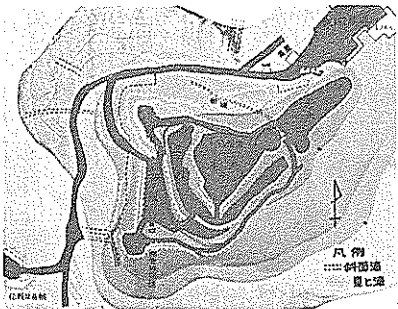
◎四年以下男子……一位「武市和満、二位「岡林倫正、三位「浜田聖」

◎六年以下女子……一位「岡林由希子、二位「山島範子、三位「大谷明日香」

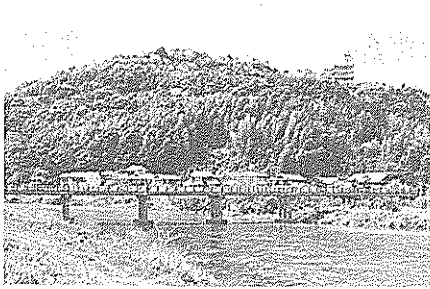
文化財をたずねて②

《岡豊城跡》

があり、二条の空濠が堀られている。ここは南国市指定の文化財で



岡豊城略図



岡豊山を南東方向より望む

長宗我部氏は、兼序、国親、元第三の郭は家老屋敷と言われ、本丸の約二百ト南に独立してつくられている。第二、第三の郭は出丸で、西と南からの攻撃に備えたものである。

親の三代が名高い。十九代兼序は、永正五年（一五〇八）本山、山田、吉良、大平氏の連合軍に攻められ、城と運命をともにした。

兼序の子国親は、幡多の一条房家のもとで成長し、永正十五年（一五一八）岡豊に帰り、吉田周孝らの助けをかり、長宗我部氏の再興に乗り出した。まず周辺の土豪を討って土地を広め、つづいて宿敵本山氏を攻めたが、途中永禄三年（一五六〇）病死した。

以後二十余代、その墓は岡豊山の北谷にある。

一番上段の立派なのが、元親の長男信親の墓だという。少し離れたところに、香川さまと呼ぶ墓がある。土地の人は、元親の二男香川親和の墓だという。ともに南国市指定の史跡である。